

2023年度

小論文A

(問題)

<R05179181>

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～3 ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
5. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例)

57001番



万	千	百	十	一
5	7	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

小論文作成上の注意

1. 解答は、所定の解答用紙におさまるように、日本語で書きなさい。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。（句読点、記号等は、必ず独立した1マスを使用する。）
3. 解答は横書きとし、楷書で左から右へと書くこと。
4. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
5. 小論文解答用紙は汚したり、折り曲げたり、破ったりしないこと。
6. 下書きは、別に配付の下書き用紙を使用すること。試験終了後、下書き用紙は持ち帰ること。

- 問題** 次の文章は、教員と学生のあいだの、幸福に関する会話である。図表を参照しながらこの文章を読み、以下の問に答えなさい。
- 教授：** 第二次世界大戦後、日本は高度経済成長期に入りました。この時期、日本の実質経済成長率は年平均で10%前後となり、家庭には洗濯機や冷蔵庫等の家電製品が普及^(a)していきました。その結果、多くの国民が「豊かさ」を実感するようになりました。
- 学部生：** 「豊かさ」とは、何ですか。
- 院生：** 「豊か」という言葉には色々な意味があります。物や財産を多く所有^(b)できるようになったことを「物が豊かになった」といいます。「心が豊かになった」という表現もありますね。
- 教授：** 面白い調査をひとつ紹介しましょう。1970年代以降、毎年行われているのですが、多くの年代の日本人に「今後の生活において心の豊かさと物の豊かさのどちらを重視しますか」と質問するという調査です。その結果、ある時点から「心の豊かさ」を重視する人が、「物の豊かさ」を重視する人より多くなる⁽¹⁾という (d) 現象がみられたのです。
- 学部生：** 便利な生活が送れるようになって、今度は幸せになりたいと思うようになったということなんでしょうか。
- 院生：** 君はいま「幸せ」といいましたが、「幸せを感じること」、これを主観的幸福感といいますが、主観的幸福感が「心の豊かさ」を意味するとは限りませんよ。
- 教授：** そうですね。私たちはどのような状態にあれば「幸せ」といえるのか。これは難しい問題です。日本では“well-being”を「幸福」と訳すことがありますが、OECDでは“well-being”を11の側面から定義⁽²⁾しています(図1)。
- 学部生：** ただお金をもっていれば幸福である、というわけではないのですね。
- 教授：** また別の調査を紹介⁽³⁾しましょう。日本のある地域に住む284名の人たちに、「あなたは幸せですか」という質問と「あなたは生活に満足していますか」という質問を行ったというものです(表3)。その結果、「幸福」であり、かつ「満足」していると回答した人は、全体の (e) %ほどでした。そして、生活に「不満」だと回答しても、そのうち (f) %以上の人は自分は「幸福」であると回答したのです。
- 学部生：** 生活に満足していれば、人は幸福を感じるものだと思っていたのですが、そうとは限らないのですね。⁽³⁾
- 院生：** 「幸福」とは何なのか。調べてみると、面白い研究になるかもしれませんね。
- 問1** A 下線(a), (b), (c)の読み仮名を、平仮名で書きなさい。
B (d)に最もふさわしい言葉を、漢字または平仮名で書きなさい。
- 問2** 以下の文のうち、上記の会話および図表の内容に照らし合わせて最も適切な内容のものを2つ選び、記号で答えなさい。
イ：「豊かさ」という言葉は様々な捉え方ができる。
ロ：家電製品があれば、満足な生活は送れる。
ハ：心の豊かさが充実しないと、生活を不満と感じる。
ニ：日本人には物の豊かさと心の豊かさの両方が必要である。
ホ：学歴が高い人ほど、幸福であり生活にも満足している。
ヘ：幸福はお金(所得)だけでは判断できない。
- 問3** 下線(1)の内容について、関連する表に基づきグラフで表しなさい。
- 問4** 下線(2)の内容について、図1に基づき日本語で説明しなさい(5行程度)。
- 問5** (e)および(f)に最も相応しい数値を、関連する表に基づいて答えなさい。
- 問6** 下線(3)について、生活の満足度と幸福感がそれぞれどのようなものなのか、関連する図表を適切に引用しながら自分の考えを10行程度で述べなさい。また、自分の考えに20文字以内のタイトルをつけなさい。

表 1. 日本の実質経済成長率の推移

西暦(年)	実質経済成長率(%)
1963	8.47
1966	10.64
1969	12.48
1972	8.41
1975	3.09
1978	5.27
1981	4.21
1984	4.50
1987	4.73
1990	4.89
1993	-0.52
1996	3.10
1999	-0.25
2002	0.12
2005	1.66
2008	-1.09
2011	-0.12
2014	0.37
2017	2.17

2. ※ページ下部に出典を追記しております。

表 2. 「心の豊かさと物の豊かさのどちらを重視しますか」の質問に対して、それぞれ回答した人の比率の推移

※1 ページ下部に出典を追記しております。

西暦 (年)	心の豊かさ を重視(%)	どちらも いえない(%)	物の豊かさ を重視(%)
1972	37.3	16.4	40.0
1975	38.8	17.4	40.9
1978	39.5	17.2	40.4
1981	44.3	13.3	38.8
1984	46.5	13.8	36.8
1987	49.6	13.6	34.0
1990	53.0	13.5	30.8
1993	57.4	11.2	29.0
1996	58.8	11.3	27.9
1999	57.0	10.7	29.3
2002	60.7	10.1	27.4
2005	57.8	11.7	28.4
2008	62.6	6.2	30.2
2011	61.4	6.4	31.0
2014	63.1	4.9	31.0
2017	62.6	7.2	29.2

表 3. 「幸福感」と「生活満足度」に対する各回答者数

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

表 4. 回答者の属性別、幸福な人、満足な人の比率

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

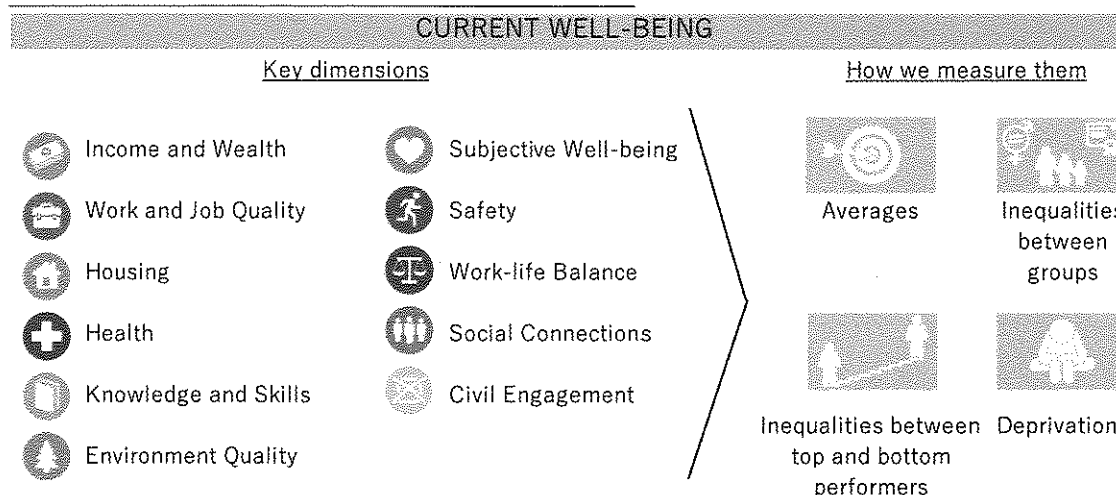


図 1. OECD による“current well-being”の定義

〔以下余白〕

※OECD/OECD well-being framework,
<https://www.oecd.org/wise/measuring-well-being-and-progress.htm>

※ 1 出典：「国民生活に関する世論調査」(内閣府)
<https://survey.gov-online.go.jp/rule.html> を加工して作成

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
 2. From «GDP growth (annual %) - Japan», World Bank national accounts data, and OECD National Accounts data files.
 CC BY-4.0. Open data. <https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.MKTP.KD.ZG?end=2022&locations=JP&start=1961&view=chart>

小論文 A 解答用紙

<R05179181>

受験 番号	万	千	百	十	一
姓 氏 名					
氏 名					

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2023年度

小論文 A
(解 答 用 紙)

No.

1

 /

1

採 点 欄

問1

A

(a)	(b)	(c)

B

(d)

問2

--	--

問3

問4

問5

(e)	(f)

問6：本文

問6：タイトル

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--